

第9号 2019. 3

# ふじやまだより

発行者

富士市福祉キャンパスふじやま学園

代表 園長 山田 裕子

富士市大淵 2 1 0 6 - 3

TEL 0545-35-0313

FAX 0545-35-0243

## 平成30年度をふりかえって



富士市立ふじやま学園 園長 山田 裕子

平成30年度も残すところ1ヶ月。この一年を振り返ると様々なことが蘇ってきます。

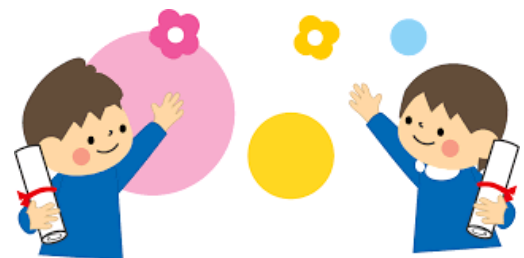
春：おしゃべり大好きな小学1、2年生達が入園してきました。特に女子寮は雰囲気が一変し毎日が賑やかになりました。最初は楽しめたお姉さん達もその内相手をしきれなくギブアップ。間もなく小さい子専用の遊び部屋が出来ました。

夏：学園のプールは組み立て式。完成までの1週間を待つ時間も楽しく、完成後は毎日がプールという上等な夏休みを過ごしました。

秋・冬：キャンパスまつりや福祉まつり、クリスマス会でパフォーマンスを披露。ステージに立つ子ども達のキラキラした輝きは見応え十分でした。平成最後の年末年始をゆったり過ごし、学校が始まるといつもの生活に。喜怒哀楽と様々な刺激を受けながら、子ども達は職員と共に貴重な経験・学びを重ねまた新しい春に向かっていきます。

さて、学園で生活する子ども達の平均入所期間は4年。家庭の受け入れが整えば途中退園もありますが、大半が高校を卒業する18歳まで生活しています。不安な気持ちを抱え入園する子ども達が、安心して生活が送れるよう環境を整え、その上で一人ひとりと向き合い特性に合わせた支援をおこなっています。「自立心を養う」「社会性を養う」「余暇活動の充実」等をはかり自己肯定感に繋げ子ども達一人ひとりが出来ることを増やしていきます。また、子ども達への支援は、学園の職員だけではなく児童相談所・学校・病院・行政等の人たちと連携し、直接的、間接的に関わっていただいています。子どもの『あゆみの一歩』はそれぞれですが、皆様との共同でどの子も確実に成長しています。そんな皆様の思いを受け今年度卒園していく子どもは高等部3年生5名(本校3名・分校2名)です。進路先は、グループホームから企業・家から就労移行支援事業所・障害者入所施設と様々ですが、希望と夢を胸に次のステップに踏みだそうとしています。

平成30年度もさまざまなことがありました。その時々の振り返りを忘れず次年度に繋げていきます。多方面に渡り御支援、御協力を頂いた多くの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



# ふじ2寮の紹介 ～子ども達の遊び～

昨年までのかえで寮が、今年はふじ2寮と名称を変えてスタートしています。

現在、高校生5人、中学生2人、小学生4人の男児が11人います。ふざけ合いやトラブルも絶えないですが、みんな明るく賑やかに毎日を過ごしています。小学生が加わったことで年齢の幅が広がりました。“高校生と小学生と一緒に遊べるかなぁ・・・”と心配していましたが、いざスタートしてみれば大きい子も小さい子も夢中になって一緒に遊ぶ場面をよく目にします。



将棋, ドンジャラ, レゴ,  
TVゲームをしたりお絵描き,  
ダンボール工作, テレビ, 音楽,  
サッカー, 野球, 相撲に夢中



寮の皆と職員さんと、ボーリング大会やミニ運動会、映画鑑賞会などいろいろイベントも開催し、大盛り上がり!

## 遊びは『成長の場』

遊びのなかで喧嘩やトラブルは絶えず起こります。それでも、遊びは『成長の場』という視点で職員と一緒に遊んだり、子ども達の様子を見守ったりと支援しています。

## 社会性・コミュニケーションの成長

サッカーでお互いのプレイについて、ある子が強い口調で注意すると相手の子は嫌になってプレイをやめ、泣いてしまうことがありました。そんなとき、どのように伝えたらお互いに楽しく遊べるのかと子ども達と話し合うことをしています。将棋では駒の動きや攻め方、守り方を覚えることも必要ですが、それよりも相手を誘うときの声掛けや終わったときのお礼も大事な場面として伝えています。

## 心の成長

ゲームで上手にプレイできないとき、ドンジャラで負けて悔しくてイライラを露骨に見せていた子が、「まあしかたない、悔しいけど次がんばろう」と気持ちの切り替えができるようになりました。

いつもうまくいくとは限りませんが、遊びのなかでお互いを認め合い、笑いあっている場面を見ると職員も嬉しくなります。小学生から高校生まで一緒に楽しめることが、寮の魅力です。





# クリスマス会



12月22日に、クリスマス会を開催しました。  
毎年、係の職員と実行委員の子どもたちを中心に準備をし当日をむかえます。今年も子どもたちの意見を取り入れ、とても楽しい会になりました。

開会は子供たちが考えた「赤ずきん」をモチーフにした劇で進行。サンタさんを迎えるに行く途中、狼に見つかり「楽しませてくれたら見逃してやる。」といわれ参加者に助けを求める赤ずきん。



ふじ1寮はUSAのダンス。完全にDAPAMPになりきって踊っている子もいて、とても盛り上がりました。皆かっこよかったです。

ふじ2寮の小学生は、太鼓をポッキーの曲に合わせて、楽しく演奏しました。中高生はヲタ芸を披露。地域交流室を暗くし、光る棒を持ち、キラのあるダンスで会場を盛り上げました。



つつじ寮の小学生は、高校生が制作した耳とスカートを着てミッキーマウスマーチを元気良く踊りました。中高生は、4曲のスペシャルメドレーのダンスを披露しました。大きな旗を振る演出も加わり賑やかなステージになりました。

ステージが終了すると、赤ずきんがサンタさんを会場に連れてきてくれました！首を長くして待っていたこどもたちにサンタさんからプレゼントがひとりひとりに渡されました。



昼食は、から揚げ、サンドイッチ、焼きたてのピザなどたくさんのご馳走がでて、こども達も大満足でした。



## ホッとタイム行事(秋・冬)



季節行事として、秋は外で焼き芋を行い、食欲の秋を楽しみました。冬はクリスマス会だけではなく、園内の各場所にイルミネーションを飾り楽しみました。

2月には、節分行事で豆まきを行いました。子供たちは勇気をだして鬼を退治してくれました。



## ボランティアグループの紹介



ふじやま学園では、職員だけでなく、地域及びボランティアさんの御協力により、日々こどもたちが安全で安心した生活を送ることができています。今回は日ごろ学園の運営に御協力していただいているボランティアグループをご紹介します。

### ☆立正佼成会さん☆

立正佼成会のみなさんには、学園の敷地の草取りなどの奉仕活動を行っていただいております。おかげで花壇や園庭が綺麗に保たれています。

### ☆たんぽぽ奉仕さん☆

月に一度、こどもたちの衣類の補修、バック・座布団といった日用品まで、生活に必要なあらゆるものを作っていただいております。アイデアと技術で、何でも作成してくれます。

### ☆常葉大学ボランティアサークル：ふじさぽさん☆

キャンパス祭り、クリスマス会など、主に学園行事に協力してくれています。こどもたちと遊んだり、素敵なステージを披露してくれ、こどもたちからも大人気です。



ボランティアの皆さん

いつもありがとうございます。